

## 文化芸術振興費補助金

令和6年度助成対象事業募集案内（分冊4）



## 劇場・音楽堂等機能強化推進事業 劇場・音楽堂等間ネットワーク強化事業

事業名	募集対象となる活動期間
劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業（分冊1）	令和6年4月1日 ~令和7年3月31日
地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業（分冊2）	
共同制作支援事業（分冊3）	
劇場・音楽堂等間ネットワーク強化事業（分冊4）	

各事業に共通する事項は「本冊」に記載しています。必ずご確認ください。

《助成金交付要望書の提出期間》

令和5年11月8日（水）10：00～11月15日（水）17：00

令和5年10月  
独立行政法人日本芸術文化振興会

# 目 次

令和6年度における主な変更事項	1
助成制度の仕組み	2
本事業の目的	2
助成の対象となる事業及び助成期間	2
審査基準（ネットワーク強化事業）	3
助成の対象となる者	4
助成金の額	4
助成対象経費	5
助成対象とならない経費	7
他の助成事業等への重複応募・重複助成について	8
応募についての留意事項	8
応募の方法	9
提出書類	9
提出期間及び提出方法	10
提出データについて	11
要望書記入例	12

## 《令和6年度における主な変更事項》

### (1) 助成対象経費の変更

○令和5年度までは、新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、「感染症対策費」を助成対象経費として計上することを認めておりましたが、当該感染症の「5類」移行を踏まえ、令和6年度からは助成対象ではなくなりました。

### (2) 審査の観点

○各事業に共通して、新たな審査基準による企画内容に対する審査に加えて、劇場・音楽堂等の組織運営や持続可能性、活動実績の観点も考慮に入れることとなりました。

このほかの変更については本募集案内の各項目をご確認ください。また、予算編成の過程で本募集案内の内容は変更となる場合があります。

### 令和5年度 事業別採択状況（令和5年3月31日公表資料より）

事業名	応募件数（件）	採択件数（件）	助成金交付予定額（千円）
劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業	21	12	626,529
地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業	266	111	786,230
公演事業	95	29	450,722
人材養成事業	74	36	132,967
普及啓発事業	97	46	202,541
共同制作支援事業	1	1	36,779
劇場・音楽堂等間ネットワーク強化事業	30	7	50,842
合 計	318	131	1,500,380

---

---

## 助成制度の仕組み

---

---

### 本事業の目的

現在、我が国では、「国民がその居住する地域にかかわらず等しく、文化芸術を鑑賞し、これに参加し、又はこれを創造することができるような環境の整備」及び「文化芸術へのアクセスの拡大のため、国内外の訪問者が障害の有無・年齢・言語等に関係なく文化芸術を鑑賞できる環境づくり」が求められています。

以上を踏まえ、「劇場・音楽堂等間ネットワーク強化事業」（以下、「本助成事業」という。）では、劇場・音楽堂等相互の連携・協力の促進とともに、あらゆる人々がその居住する地域等にかかわらず等しく実演芸術を鑑賞できるよう、劇場・音楽堂等又は実演芸術団体が企画制作する実演芸術の巡回公演に対して支援します。

### 助成の対象となる事業及び助成期間

#### (1) 助成の対象となる事業

劇場・音楽堂等又は実演芸術団体が主体となって企画・制作する質の高い実演芸術の公演を、複数の道府県内の劇場・音楽堂等を巡回して実施する場合、当該巡回公演に要する旅費及び運搬費に対して助成します。

ただし、以下のア～オの要件を全て満たすことが必要です。

ア 我が国の劇場・音楽堂等又は我が国の実演芸術団体が企画・制作する質の高い実演芸術（音楽、舞踊、演劇、伝統芸能、演芸）の公演であること。

イ 公演を実施する場所が原則として劇場・音楽堂等であること。（ 1）

ウ 助成の対象となる公演が複数の道府県内を巡回して行われること。（ 2）（ 3）（ 4）

エ 巡回先の各劇場・音楽堂等で行う公演の内容は、同一のものであること。（ 5）

オ 公演の対象（観客等）が社会的に開かれたものであること。

1 劇場法第2条第1項を御確認ください。

2 東京都内の劇場・音楽堂等で実施する公演については、実演芸術の鑑賞機会が東京都に偏在している現状を鑑み、助成対象外とします。

3 一つの道府県内に所在する劇場・音楽堂等のみを巡回して実施する場合は、助成対象となりません。

4 原則として巡回先の劇場・音楽堂等を連続して移動する公演を助成対象としますが、日程の都合等合理的な理由がある場合には、連続して移動することができない場合であっても、助成対象とします。

5 巡回先の劇場・音楽堂等の事情や日程の都合等により公演内容の一部が異なる場合であっても、演目、演出、出演者その他公演内容を構成する主要な要素から判断して同一内容の公演と考えられる場合には、助成対象とします。

6 本事業に採択となった団体には、観客・聴衆の満足度等について、助成対象活動実績報告書にてご報告いただきます。

#### (2) バリアフリー・多言語対応に関する取組（別枠支援）

障害者や外国人が、文化芸術に触れられる環境の整備を図るため、バリアフリー・多言語対応の取組に対して、上記とは別枠で支援します。

<助成の対象となる取組の例>

聴覚に障害を持つ方々のためのバリアフリー字幕の制作  
音声認識技術を使ったリアルタイムでの字幕の作成  
視覚に障害を持つ方々のための音声ガイド、点字プログラムの制作  
様々な障害を持つ方々が館内を移動しやすくなるための誘導員の追加配置  
訪日外国人等のための多言語プログラム、音声ガイド、多言語字幕の制作  
磁気ループ等、バリアフリー・多言語対応のための機材を他施設から運搬借用 など

上記に示した「助成の対象となる取組の例」はあくまでも例示です。

(3) 助成期間

助成期間は、**令和6年4月1日から令和7年3月31日まで**とします。

(4) 助成の対象とならない事業

本冊 P. 6「応募できない事業」を参照してください。

審査基準（ネットワーク強化事業）

審査基準	審査の観点
創造性・企画性	・創造性や企画性が高い、優れた実演芸術の事業計画である。 ・優れた芸術家、スタッフ等が才能、技能を発揮し、質の高い公演が期待できる。
地域性	・各地域において、単独では事業を実現しにくいような創造性の高い公演の鑑賞機会の提供を実現する計画である。
多様性・アクセシビリティ	・人々の実演芸術に対する関心、参加への意欲を引き出し高めるような取り組み、工夫がなされている。 ・障害の有無や年齢、性差、国籍、居住地、経済的状况等に関わらず、幅広い人々が参加できるような配慮がなされている。
活動実績と実現性	・劇場・音楽堂等又は実演芸術団体のこれまでの活動実績から、当該計画においても相応の成果を上げることが期待できる。 ・参画する劇場・音楽堂等の相互の連携体制、協力関係の構築への工夫がなされており、それぞれの企画制作能力の向上が期待できる。 ・予算計画が妥当であり、事業収入のほか、寄付金、協賛金、各種助成金など、多様な財源の獲得に努めている。 ・広報計画が充実しており、券売・集客、支持者の広がり、認知度の高まりが期待できる。

「審査の観点」は、応募する劇場・音楽堂等及び実演芸術団体に対して、そのすべてを満たすことを求めるものではありません。

## 助成の対象となる者

劇場・音楽堂等又は実演芸術団体が主体となって実施する巡回公演(P. 2「助成の対象となる事業」を参照。)を企画・制作し、かつ、経理事務を代表する劇場・音楽堂等又は実演芸術団体であって、以下の要件を全て満たす者とします。

### (1) 劇場・音楽堂等

劇場・音楽堂等を設置する者又は運営する者(以下、前者を「設置者」、後者を「運営者」という。)であって、次のいずれかの要件を満たす者。

- ア 地方公共団体
- イ 法人格を有する者

実演芸術に関する企画・制作について相当程度の実績を有すること。

会計責任者を置くとともに、これとは別に、本助成事業に係る会計関係書類をチェックする監査責任者を置き、会計処理を適正かつ正確に行うことができる体制を有していること。

### (2) 実演芸術団体

我が国の実演芸術団体であり、その実演芸術団体を構成する出演者・スタッフ等に高い専門性があり、以下のいずれかに該当する者。

- ア 法人格を有する者であって、原則として自ら一定数以上の実演家を擁する者
- イ 法人格を有しないが、次の要件を全て満たしている者

( ) 主たる構成員が芸術家又は実演芸術団体であること。

( ) 定款に類する規約等を有し、次の3点について明記されていること。

- ・ 団体の意志を決定し、執行する組織が確立されていること。
- ・ 自ら経理し、監査する等会計組織を有すること。
- ・ 団体活動の本拠としての事務所を有すること。

( ) 令和6年4月1日現在において、団体設立後3年以上の実演芸術活動実績を有すること。

会計責任者を置くとともに、これとは別に、本助成事業に係る会計関係書類をチェックする監査責任者を置き、会計処理を適正かつ正確に行うことができる体制を有していること。

(1)と(2)のいずれか又は両者を構成団体とする場合であっても、実行委員会名義等による応募はできません。

## 助成金の額

### (1) 助成金の額

本体事業(バリアフリー・多言語対応を除く。)の助成金の額は、**助成の対象となる事業に要する旅費、運搬費の合計額(課税事業者については、消費税等仕入控除税額を控除した額)を上限とします。( 1 )**

また、**1団体あたり 3,000 万円を上限とします。**なお、**1団体あたりの応募できる事業数には制限はありませんが、複数事業が採択された場合、事業間での配分額の変更はできません。**

### (2) バリアフリー・多言語対応の助成金の額

バリアフリー・多言語対応については、助成対象経費の範囲内(課税事業者については、消費税等仕入控除税額を控除した額)とし、(1)とは別に、50万円を上限として、実費で助成します(千円単位、端数切捨)。

1 本助成事業においては、巡回先の劇場・音楽堂等に移動する上で必要となる費目に限定して助成するものとし、巡回公演を構成する個々の公演に必要な出演費や舞台費、会場費等については、チケット収入や巡回先の劇場・音楽堂等の分担金収入等の自己収入で賄うものとします。

## 助成対象経費

### (1) 助成の対象となる経費

助成の対象となる経費は、助成の対象となる事業に要する次に掲げる経費であって、かつ、令和6年度に自ら支払った経費であることが銀行振込明細書等により確認できる経費とします(P.2「助成の対象となる事業」を参照。)。金額は、積算根拠が明確になるように、可能な限り、単価や数量を具体的に記入してください。

細目	内 訳
運搬費	道具運搬費、楽器運搬費等
旅費	国内における交通費 <sup>(1)</sup> 、宿泊費 <sup>(2)</sup> 、日当 <sup>(2)</sup> 、バス借上げ費等
委託費	特定の業務を他の者に委託する際の経費(ただし、その内訳は、上記の細目に該当する経費に限る。)

1 交通費には、航空・列車・船舶運賃の特別料金(ファーストクラス、ビジネス料金、グリーン料金等)は計上できません。

2 宿泊費・日当は、旅費法(国家公務員等の旅費に関する法律)で定める額を上限とし、助成対象活動に係ることが確認できる場合のみ計上できます。

なお、日当は、宿泊を伴う場合のみ計上可能で、各団体の旅費支給規定等に日当の記載があるものに限り、宿泊費、日当の上限は下記のとおりです。

甲地の場合：宿泊費 10,900 円以下(一夜につき)、日当 2,200 円以下(一日につき)

乙地の場合：宿泊費 9,800 円以下(一夜につき)、日当 2,200 円以下(一日につき)

甲地...さいたま市、千葉市、東京都特別区、横浜市、川崎市、相模原市、名古屋市、京都市、大阪市、堺市、神戸市、広島市、福岡市  
乙地...上記以外の都市

### (2) バリアフリー・多言語対応に係る助成対象経費

#### バリアフリー対応

助成の対象となる経費は、バリアフリー対応に関する取組における次に掲げる経費であって、かつ、令和6年度に自ら支払った経費であることが銀行振込明細書等により確認できる経費とします(P.2「バリアフリー・多言語対応に関する取組(別枠支援)」を参照。)。金額は積算根拠が明確になるように、可能な限り、単価や数量を具体的に記入してください。

細目	内 訳
舞台費	字幕費・音声ガイド費、機材借料、機器オペレーター料
運搬費	機材等運搬費
謝金	手話通訳・要約筆記等の謝金、追加的な誘導員の配置に伴う謝金
印刷費	点字のプログラム・チラシ・資料の印刷費、デザイン料
委託費	特定の業務を他の者に委託する際の経費(ただし、その内訳は、上記の細目に該当する経費に限る。)

## 多言語対応

助成の対象となる経費は、多言語対応に関する取組における次に掲げる経費であって、かつ、令和5年度に自ら支払った経費であることが銀行振込明細書等により確認できる経費とします(P.2「バリアフリー・多言語対応に関する取組(別枠支援)」を参照。)。金額は積算根拠が明確になるように、可能な限り、単価や数量を具体的に記入してください。

細目	内 訳
文芸費	翻訳料(多言語のプログラム・チラシ・資料の翻訳料、特設ウェブサイトの翻訳料)
舞台費	字幕費・音声ガイド費、機材借料、機器オペレーター料
運搬費	機材等運搬費
謝金	通訳料(外国人の観客への通訳で、当該事業に要する経費に限る。)
印刷費	多言語のプログラム・チラシ・資料の印刷費、デザイン料
委託費	特定の業務を他の者に委託する際の経費(ただし、その内訳は、上記の細目に該当する経費に限る。)

### (3) 経費を計上する上での留意事項

巡回公演を実施する際、巡回先の劇場・音楽堂等に移動するのに要する出演者・スタッフの国内における旅費及び道具等の運搬費を助成対象とします。

巡回公演を構成する公演のうちに東京都内の劇場・音楽堂等における公演が含まれる場合、東京都内での当該公演に要する旅費及び運搬費は助成対象となりません。同様に、助成対象外の公演が含まれる場合も、当該助成対象外の公演に要する旅費及び運搬費は助成対象となりません。

巡回公演終了後、撤収するのに要する旅費及び運搬費は助成対象とします。また、日程の都合等合理的な理由により、劇場・音楽堂等を連続して移動することができない場合の一時的な撤収に要する旅費及び運搬費についても助成対象とします。

巡回公演を構成する公演の中に、文化庁の補助事業、芸術文化振興基金の助成金等による助成を受ける公演がある場合、当該助成を受ける公演に係る旅費又は運搬費は助成対象となりません。

事務打合せ、稽古等に係る旅費は助成対象となりません。

巡回公演を構成する全ての公演を巡回する出演者・スタッフのほかに、一部の公演にのみ巡回する出演者・スタッフがいる場合、必要に応じて当該出演者・スタッフの旅費についても助成対象とします。

ただし、巡回先の公演地のみに参加する出演者・スタッフ(現地の市民合唱団やボランティアスタッフ等)の旅費は原則として助成対象となりません。

交通費は、巡回公演を実施する上で経済的かつ合理的な経路及び方法に限ります。

旅費を計上する場合、各団体の旅費支給規定等を確認する場合があります。

バス借上げ費は、出演者・スタッフが巡回先の劇場・音楽堂等に移動する上で、やむを得ない理由がある場合に限り、助成対象とします。

バリアフリー・多言語対応に関する取組に要する経費については、巡回公演に助成対象外の公演が含まれる場合、対象となる公演のみの経費を算出して計上してください。

## 助成対象とならない経費

以下の経費は、外部に委託した場合についても計上できません。

国際航空賃、航空・列車・船舶運賃の特別料金(ファーストクラス料金、グリーン料金等)、タクシー代、自社所有車両の運転・荷降ろし要員の経費、出演費、音楽費、文芸費( 1)、舞台費( 1)、会場費、謝金( 1)、宣伝費、印刷費( 1)、事務所維持費(生活雑貨、医薬品、光熱水費等含む)、職員給与、印紙代、振込手数料、楽器・楽譜購入費、キャンセル料、事務機器・事務用品等の購入・借用費、電話代、ビザ取得経費、ホームページ運用費、交際費・接待費、予備費、取材等に係る経費、レセプション・パーティーに係る経費、打ち上げ費、飲食に係る経費( 2)、記念品代、賞品・賞金代、保険料、備品等購入費、その他諸経費 等

- 1 バリアフリー・多言語対応に関する取組に要する助成対象経費は除きます。
- 2 旅費として通常認められる範囲の経費は、助成対象経費に計上することができます。

### 独立行政法人日本芸術文化振興会と関係する事業について

独立行政法人日本芸術文化振興会(以下、「当振興会」という。)と共催する事業については、助成の対象となりません。また、共催しない場合であっても、当振興会に支払いが生じる経費については計上できません。ただし、当振興会が設置・運営する劇場を借りて実施する活動に要する会場使用料(付帯設備費を含む。)、稽古場使用料等についてはこの限りではありません。

## 他の助成事業等への重複応募・重複助成について

### 劇場・音楽堂等機能強化推進事業の重複応募・重複助成

助成を受けようとする同一内容の事業について、劇場・音楽堂等機能強化推進事業の他の助成事業（「劇場・音楽堂等機能強化総合支援事業」、「地域の中核劇場・音楽堂等活性化事業」、「共同制作支援事業」）と重複して応募・助成を受けることはできません（助成の対象となる経費が重複しない場合についても同様。）。

その他、文部科学省・文化庁の補助事業等、芸術文化振興基金助成事業への重複応募・重複助成や、共同で主催する別の団体からの重複応募・重複助成については、本冊の P. 6 を参照してください。

## 応募についての留意事項

- (1) 本助成事業は、令和6年度概算要求に基づき募集を行うものです。今後の予算編成の状況によっては、スケジュールの遅れ等、事業内容の変更、事業規模の縮小、若しくは事業の消滅が生じる場合がありますので、あらかじめ御了承の上、ご応募ください。
- (2) 助成金の額は、本助成事業の予算の範囲内で決定されるとともに、審査等の結果が助成金の額に反映されるため、要望額全てを満たすとは限りません。
- (3) バリアフリー・多言語対応の助成金は、本体事業の助成金への流用はできません。
- (4) 原則として助成金は、事業を構成する個々の公演等の終了後に順次支払うのではなく、交付決定された助成事業終了後に一括して助成金額の支払の手続きを行います。また、助成金の額の確定及び精算は、本体事業及びバリアフリー・多言語対応のそれぞれを千円単位(端数切捨)で行います。
- (5) 採択後に要望書及び交付申請書の記載内容から大幅な変更が生じた事業については、助成対象外となり、助成金の額の算定の対象から除外される場合もあります。要望書及び交付申請書の作成に当たっては、実現可能な内容を記載してください。また、要望書提出後の会場の追加・変更は原則認められません。
- (6) 要望書又は交付申請書の提出後、助成事業の内容に変更があった場合には、速やかに連絡してください。
- (7) 助成事業終了後、要望書及び交付申請書に記載されている事業計画と実績報告書を比較し、経費の減額や事業計画の変更又は虚偽の報告等が認められる場合は、採択の取消し、助成金の減額又は返還を求めることがあります。

# 応募の方法

## 提出書類

### (1) 提出書類一覧

各書類の作成方法については、P. 11「提出データについて」を御参照ください。

		Excel	PDF
様式第1号 (第3条関係)	令和6年度文化芸術振興補助金による助成金交付要望書(劇場・音楽堂等機能強化推進事業) <u>押印は不要</u>		ページ番号は つけないでくだ さい
様式1-1	活動(公演)概要(巡回公演の概要)		
様式1-2	助成対象公演の実施計画書		
様式1-3	巡回公演の日程表		
様式1-4-	予算計画書		
様式1-4-	収支予算積算内訳[バリアフリー・多言語対応] バリアフリー・多言語対応に関する取組(別枠支援)を要望する場合のみ提出		
様式1-5	応募団体概要、公演団体概要		
様式1-6	収支予算積算書(助成対象活動・全体計画)		
応募者となる劇場・音楽堂等の運営者又は実演芸術団体の令和5年度の主な主催事業・活動に関するチラシ等 年間の主催事業がわかる資料(年間スケジュール、イベントラインナップ)で代用可能		-	
応募者となる劇場・音楽堂等の運営者又は実演芸術団体の定款又はこれらに類する規約等		-	
応募者となる劇場・音楽堂等の運営者又は実演芸術団体の直近過去3か年の財務諸表(貸借対照表・収支計算書)、事業報告書 *WEBサイトで公開している団体は不要		-	
助成対象となる公演を実施する全ての劇場・音楽堂等の施設に関するパンフレット等(写しでも可)		-	

### (2) 様式の入手方法

劇場・音楽堂等機能強化推進事業のホームページからダウンロードしてください。

「劇場・音楽堂等機能強化推進事業」助成対象活動の募集について

<https://gekijo-ongakudo.ntj.jac.go.jp/oubo/>

### (3) 提出に当たっての留意事項

上記の一覧表を十分に御確認の上、2種類(PDF及びExcel)のデータをアップロードにて提出してください。なお、様式第1号(第3条関係)は、押印不要です。

巡回公演の企画・制作及び経理事務を統括する劇場・音楽堂等又は実演芸術団体が、要望書を取りまとめて提出してください。

一つの団体が複数の巡回公演に応募する場合は、それぞれの巡回公演につき、要望書を1部提出してください。

要望書は、文字の大きさを9ポイント以上とし、各様式に収めて簡潔に記載してください。使用する色は白黒のみとします。ページ番号はつけないでください。また、様式によっては、指定箇所以外の行幅変更、行の追加は認めていない場合がありますので、注意してください。

要望書以外の提出書類についても、ページ番号は不要です。

要望額について、応募者が課税事業者である場合は、消費税及び地方消費税にかかる仕入控除税額に相当する額を減額して記入してください。

提出書類については、その記載内容について問い合わせをすることがありますので、必ずバックアップを保管するようにしてください。

要望書は、提出後の差し替えは一切認められません。また、提出された書類の返却はいたしません。

審査は、要望書(PDF データ)により行います。一旦提出された要望書については、基本的に当振興会から補正を求めることはしませんので、要望書の作成に当たっては、くれぐれも不備のないよう注意してください。なお、内定後に、経費等の補正を求める場合があります。

要望書 Excel の PDF 化に当たっては、セル内の文字切れやエラー値表示(####)が多発しています。十分に御確認の上、御提出をお願いいたします。事務局での修正や差し替えは一切行いません。

## 提出期間及び提出方法

### (1) 応募書類の提出期間

**令和5年11月8日(水)10:00 ~ 令和5年11月15日(水)17:00**

アップロードは必ず上記期間内に行ってください。締切時刻を過ぎるとアップロードができなくなります。また、締切直前は回線が混み合い、アップロードに時間がかかる場合もありますので、余裕をもってアップロードするようにしてください。

要望書のアップロードには事前登録が必要です。令和5年11月7日(火)までに、事前登録・応募ページ(<https://gekijo-ongakudo.ntj.jac.go.jp/jizen/>)より登録を行ってください。

令和6年度助成対象活動の募集に関するご相談は、お問い合わせフォーム又は応募相談会(オンライン/予約制)にてお受けいたします(問い合わせ先は裏表紙にございます。)

#### (応募相談期間)

令和5年10月6日(金)～11月7日(火)午前10時から午後5時(土・日曜日と祝日を除く)。

また、ホームページ内の「よくある質問」も御参照ください(<https://gekijo-ongakudo.ntj.jac.go.jp/faq/>)。

### (2) 応募書類の提出方法

事前登録したページ(<https://gekijo-ongakudo.ntj.jac.go.jp/jizen/>)からアップロードしてください。

提出期限外における要望書の提出は認めません。

郵送での提出書類はございません。提出済の応募書類は印刷の上、原紙としてお手元に保管ください。

### (3) 応募書類のアップロードに関する問い合わせ先

株式会社日本旅行「劇場・音楽堂等機能強化推進事業」事務局

E-mail : [gekijo\\_ongakudo@nta.co.jp](mailto:gekijo_ongakudo@nta.co.jp)

本助成事業は、株式会社日本旅行に応募受付等事務の一部を委託しています。

お問い合わせは提出期間締切直前ではなく、時間に余裕をもってお願いいたします。

## 提出データについて

### (1) PDF ファイルの作成について

各種 PDF が審査資料となります。審査結果にも影響しますので、PDF 作成の際は次の点を必ず確認してください (PDF 作成後に、必ず全ページを再確認してください。 )。

併せて、劇場・音楽堂等機能強化推進事業ホームページにて公開している「PDF 作成方法について」も参考にしてください ([https://gekijo-ongakudo.ntj.jac.go.jp/data/R6\\_youbo/00\\_PDF\\_sakusei.pdf](https://gekijo-ongakudo.ntj.jac.go.jp/data/R6_youbo/00_PDF_sakusei.pdf))。

提出書類に不備がある場合、事務局での修正や差し替えは一切行いませんので御注意ください。

#### 【要望書】

- ・ページ番号はつけないでください。
- ・様式第1号(第3条関係) には押印は不要です。
- ・様式第1号(第3条関係)の日付は必ず記入してください(日付未記入が散見されますので御注意ください。 )。
- ・様式第1号(第3条関係)から様式1-6までを1つの PDF ファイルにしてください(例えば、1ページごとの1PDF ファイルでは受領できません。 )。
- ・未記入のページや空白のページがないようにしてください。
- ・PDF 作成後、様式内の文字切れがないことを確認してください(PDF が審査資料となります。文字切れにより記入内容が確認できない場合、審査に影響することがあります。 )。
- ・必要な様式が抜け落ちていないかを確認してください。

#### 【添付書類】

- ・チラシ、規約等の単位で PDF にしてください(例えばチラシが複数枚ある場合、1枚ずつの PDF を提出するのではなく、複数枚を1つの PDF ファイルにまとめて提出してください)。
- ・ページ番号は不要です。

### (2) アップロードについて

- ・アップロードするデータは、 **要望書の Excel**、 **要望書の PDF**、 **添付書類の PDF** の3種類としてください。
- ・要望書の Excel は、応募に関係しない様式(シート)を削除せず、そのまま全てアップロードしてください(Excel 形式でアップロード)。
- ・要望書の PDF は、上記注意事項を再度確認の上、そのままアップロードしてください(PDF 形式でアップロード)。
- ・添付書類は、全ての PDF を1つの ZIP ファイルにまとめた上で、アップロードしてください(ZIP 形式でアップロード)。
- ・いずれのファイルもパスワードはつけないでください。

## 令和6年度文化芸術振興費補助金による 助成金交付要望書 (劇場・音楽堂等機能強化推進事業)

令和5年11月 日

独立行政法人日本芸術文化振興会理事長 殿

劇場・音楽堂等の正式名称を記載してください。  
通称などがある場合には括弧書きで記入してください。  
※ 実演芸術団体からの応募の場合は空欄にしてください。  
劇場・音楽堂等名

〒

住所(所在地)

実行委員会名義による応募はできません。

団体名

〒

住所(所在地)

代表者職・氏名 押印不要です。

下記の事業を行いたいので、文化芸術振興費補助金による助成金交付要綱第3条に基づき、助成金の交付を要望します。

### 記

1 事業区分	劇場・音楽堂等間ネットワーク強化事業
2 活動(公演)名	※様式1-1の活動(公演)名を記入すると、自動的に反映されます。
3 活動(公演)内容	様式1のとおり
4 応募分野	選択してください
5 要望額(本体事業)	※様式1-4-①の要望額を記入すると、その数字が反映されます。0 千円
要望額(バリアフリー・多言語対応)	※様式1-4-①の要望額を記入すると、その数字が反映されます。0 千円
6 消費税等仕入控除税額の取扱い	※選択してください。

★「共通入力シート」の消費税等仕入控除税額の取扱いを選択してください。

#### 【担当者連絡先】

役職		電話番号	
ふりがな 氏名		FAX	
		メールアドレス	
資料の送付先	〒		

活動(公演)概要(巡回公演の概要)						
活動(公演)名					分野 ジャンル	選択してください 選択してください
趣旨・目的	<p>(ニーズ等を踏まえた趣旨・目的)  <b>分野及びジャンルを選択してください。</b>  <b>※ 該当するジャンルがない場合は「その他」を選択してください。</b>  <b>■ 音楽：オーケストラ、オペラ、室内楽、合唱 ■ 舞踊：バレエ、現代舞踊、民族舞踊</b>  <b>■ 演劇：現代演劇、児童演劇、人形劇、ミュージカル</b>  <b>■ 伝統芸能：古典演劇、邦楽、邦舞、雅楽 ■ 演芸：落語、講談、浪曲、漫才、奇術</b></p>					
目標	<p>※「劇場・音楽堂等間の連携・協力」、「等しい鑑賞機会の提供」の観点の目標を設定してください。  「劇場・音楽堂等間の連携・協力」  ・巡回するホール内の、助成対象となる〇〇館について、ホール主催あるいは共催事業として実施。会場使用料、設備使用料等が前年度比〇%の減額・免除となる予定(ことが決定している)。  ・入場者は延べ〇〇〇〇人を目標(公演の広報業務、〇〇〇〇の〇〇〇〇において、巡回館と連携を図る(協力を得る)。  ・〇〇〇〇「劇場・音楽堂等間の連携・協力」、「等しい鑑賞機会の提供」の観点から、力を深めていく。  ・〇〇〇〇「等しい鑑賞機会の提供」  ・〇〇〇〇の市町村〇〇〇カ所です〇〇〇回公演、入場者は延べ〇〇〇〇人を目標とする。  ・バリアフリー対応などのアクセシビリティ向上に努め、〇〇〇〇や〇〇〇〇を計〇〇〇、準備する。</p>					
実施回数	助成対象		助成対象外		合計	
	会場数	館	館	0	館	
	公演回数	回(公演)	回(公演)	0	回(公演)	
対象とする観客層	様式1-2(実施計画)、様式1-3(公演日程)など、他様式の館数、公演回数と一致させてください。					
活動(公演)の概要	<p>演目・曲目・あらすじ等</p> <p>○ 具体的に記入してください。</p>					
	<p>出演者、演出家(指揮者)、舞台スタッフ(照明、衣裳、舞台監督等)、制作等  <b>※帯同の有無に関わらず全員記入してください。巡回に帯同する者には下線を付けてください。</b></p> <p>&lt;出演者&gt; 〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇、〇〇〇〇、  &lt;スタッフ&gt; 作: 〇〇〇〇 演出: 〇〇〇〇  演出補: 〇〇〇〇 演出助手: 〇〇〇〇 美術: 〇〇〇〇 音楽・作曲: 〇〇〇〇 音響: 〇〇〇〇 振付: 〇〇〇〇  衣裳: 〇〇〇〇 衣裳製作: 〇〇〇〇 照明: 〇〇〇〇 映像: 〇〇〇〇 舞台監督: 〇〇〇〇 舞台監督助手: 〇〇〇〇  音響操作: 〇〇〇〇 合唱指導: 〇〇〇〇 企画制作: 〇〇〇〇、〇〇〇〇</p> <p>巡回に帯同しない者も必ず記入してください。  また、巡回に帯同する者に下線を付けてください。</p>					
	1会場あたりの巡回予定数(旅費支給対象者数)	出演者、演出家(指揮者)	舞台スタッフ	制作者等	トラック運転手等	合計
	**	名	* 名	* 名	* 名	** 名
<p>活動(公演)の特徴、鑑賞者(利用者)拡大のための工夫点又は戦略等</p> <p>※会場に巡回する者の数が異なる場合は、基本編成の人数で記入してください。</p> <p>移動にあたりトラックの運転のみを担当する者がいる場合、こちらに記入してください。</p> <p>※バリアフリー・多言語対応の経費(様式1-4-②)を要望する場合は、その取組について</p> <p>バリアフリー・多言語対応の経費(様式1-4-②)を要望する場合は、その取組について必ず記述してください。  記述内容から効果が期待できないと判断される場合は、助成することはできません。</p>						
機材等運搬方法	交通機関、積載量等の運搬方法を具体的に記述してください。					
助成金の分配方法に関する劇場・音楽堂等間の取決め	本助成金に採択された場合の助成金の分配方法について、各劇場・音楽堂等間及び実演芸術団体との間での取決めを記述してください。					

助成対象公演の実施計画書

- ※ 助成対象となる公演について、**実施会場(劇場・音楽堂等)ごとに**記入してください。
- ※ 主催・共催等種別は、**実施会場となる劇場・音楽堂等についての主催・共催の別**を選択してください。
- ※ チェック欄について、各項目ごとにチェックを行い、「○」を選択してください。
  - ① 文化庁の補助事業や芸術文化振興基金(「地域文化施設公演・展示活動(文化会館公演・美術館等展示)」)に応募していないことを、実演芸術団体や劇場・音楽堂等に確認しましたか。  
(応募している場合は、当該会場分については助成の対象となりません。)
  - ② 公演の対象(観客等)が社会的に開かれていますか。
  - ③ 「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」で定められた施設での開催ですか(公演を行う場所は「芸術文化振興」や「文化振興」を目的とする施設ですか。)

公演	公演期間	公演時刻	道府県名 (市町村名)	劇場・音楽堂等 の名称	ホール名 など (種別)	座席数	目標 入場者数 (単位:人)	入場料金 ※券種毎に 記載すること	要望額(単位:千円)		主催・ 共催等 種別	チェック欄		
									本体事業	バリアフリー ・多言語対応		①	②	③
1	令和6年 8月2日 (○)	①13:00 -15:00 ②19:00 -21:00	〇〇県 (〇〇市)	〇〇〇〇 文化会館	中ホール	*,***	*,***	一般前売:****円 一般当日:****円 学生****円 親子セット****円 ※無料招待***名	***	**	共催	○	○	○
2	令和6年 8月4日 (○)~5 日(□)	各日 19:00 -21:00	△△県 (△△市)	△△劇場	メイン ホール	*,***	*,***	一般前売:****円 一般当日:****円 学生****円 親子セット****円 ※無料招待***名	***	**	主催	○	○	○
3														
4														
5														
6														
7														
8														
9														
10														
11														
12														
合計							0		0	0				

和暦で入力してください。

実施会場の劇場・音楽堂等について、「主催」「共催」「その他」より選択してください。

「要望額」(本体事業、バリアフリー・多言語対応)は、千円単位で記入してください。

公演毎の「要望額」(本体事業、バリアフリー・多言語対応)を調整し、様式1-4-①(予算計画書)、様式1-4-②(収支予算積算内訳 バリアフリー・多言語対応)の要望額と一致させてください。

実施会場(劇場・音楽堂等)にあわせて、適宜、行もしくはページを追加してください。

## 巡回公演の日程表

年	月	日	曜日	行程	助成対象公演		公演会場			
					No.	対象又は対象外	都道府県 (市区町村)	劇場・音楽堂等	公演会場(助成対象)までの 主な移動手段	
令和6	8	1	木	移動						航空機、トラック
令和6	8	2	金	公演	本番	1	対象	〇〇県 (〇〇市)	〇〇文化会館	
令和6	8	3	土	移動						JROO線、トラック
令和6	8	4	日	公演	本番	2	対象	△△県 (△△市)	△△劇場	
令和6					本番	2	対象	同上	同上	
令和6	8	6	火	撤収						航空機
令和6	8	31	土	移動						
令和6	9	1	日	公演	本番		対象外	□□県 (□□市)	□□ホール	
令和6	9	2	月	移動						〇〇バス、トラック
令和6	9	3	火	その他	仕込み					
令和6	9	4	水	その他	ゲネプロ					
令和6	9	5	木	公演	本番	3	対象	××県 (××市)	××ホール	
令和6	9	6	金	移動						
令和6	9	7	土	公演	本番		対象外	〇〇県 (〇〇市)	〇〇劇場	
令和6	9	8	日	移動						JROO線、トラック
令和6	9	9	月	公演	本番	4	対象	△△県 (△△市)	△△会館	
令和6	9	10	火	撤収						航空機、トラック
令和6	9	12	木	移動						レンタカー、JROO線、 トラック
令和6	9	13	金	公演	ゲネプロ・本番	5	対象	□□県 (□□市)	〇〇市民会館	
令和6	9	14	土	撤収						レンタカー、JROO線、 トラック

○ 助成対象外公演も含め、巡回公演の全日程について省略せずに記入してください。  
また、作成に当たっては「助成対象公演の実施計画書(様式1-2)」の記載内容と合致するよう作成してください。

○ 公演の期間が空く場合には、1行以上空けて記入してください。

○ 助成対象公演を実施する劇場・音楽堂等(施設)に関するパンフレット等(会場の概要がわかるWEBデータをPDF化したものでの代用は可能。)を添付してください。

★ 日程表が1ページに収まらない場合は、日程表の枠組みを同じシート内でコピーして、複数ページの日程表を作成してください。(別シートを追加作成することはできません。)

※ 必要に応じ、適宜ページを追加してください。

※ 「その他」を選択する場合は、行程欄に詳細を記入してください。

【予算計画書】※実施会場(劇場・音楽堂等)数に合わせて、適宜、行もしくはページを追加してください。

活動(公演)名	内訳欄の金額(円単位)を記入すると、合計額が予算額(千円単位、端数切捨)で自動計算されます。
---------	--

(支出) 助成対象経費 円単位で記入してください。 単位:千円

細目	内訳										予算額	
	公演	月日	出発地	到着地	単価	数量	種別	備考	金額(円)			
運搬費	1	8月1日	(団体所在地)	〇〇県〇〇市	100,000	一式		*:2台		100,000	388	
	2	8月3日	〇〇県〇〇市	〇〇県〇〇市	15	200	km	燃料費	トラック	3,000		
	撤収	8月5日	〇〇県〇〇市	(団体所在地)	100,000	一式		オフィス〇〇	委託	100,000		
	3	9月2日	〇〇県〇〇市	〇〇県〇〇市	50,000	一式		*:1台		50,000		
	4	9月8日	〇〇県〇〇市	〇〇県〇〇市	15	250	km	燃料費		3,750		
	撤収	9月10日	〇〇県〇〇市	(団体所在地)	100,000	一式		*:1台		100,000		
	5	9月12日	〇〇県〇〇市	〇〇県〇〇市	30,000	一式		*:1台		30,000		
	撤収	9月14日	〇〇県〇〇市	(団体所在地)	15	100	km	燃料費		1,500		
	○ 委託費として計上するものは、「委託」のように記入してください。											

細目	内訳										予算額
	公演	月日	出発地	到着地	単価	数量	種別	備考	金額(円)		
交通費	1	8月1日	(団体所在地)	〇〇県〇〇市	30,000	20	人	航空機		600,000	2,543
	2	8月3日	〇〇県〇〇市	〇〇県〇〇市	700	20	人	JR		14,000	
	撤収	8月5日						航空機		860,000	
	3	9月2日								96,000	
	4	9月8日								24,000	
	撤収	9月10日								640,000	
	5	9月12日	(団体所在地)	〇〇県〇〇市	52,000	一式		バス借上げ	*****	52,000	
	5	9月12日	(団体所在地)	〇〇県〇〇市	8,000	16	人	JR		128,000	
	撤収	9月14日	〇〇県〇〇市	(団体所在地)	15	100	km	燃料費		1,500	
	撤収	9月14日	〇〇県〇〇市	(団体所在地)	8,000	16	人	JR		128,000	

細目	内訳										予算額
	公演	月日	宿泊地	単価	数量	数量(泊)	備考	金額(円)			
旅費	1	8月1日	〇〇県〇〇市	20,000	20	人		280,000	1,880		
	2	8月3日	〇〇県〇〇市	15,000	20	人		300,000			
	3	9月2日~5日	〇〇県〇〇市	8,000	20	人	4	640,000			
	4	9月8日,9日	〇〇県〇〇市	10,000	20	人	2	400,000			
	5	9月12日,13日	〇〇県〇〇市	6,500	20	人	2	260,000			

細目	内訳										予算額
	公演	月日	宿泊地	単価	数量	数量(日)	備考	金額(円)			
日当	1	8月2日	〇〇県〇〇市(本番)	2,200	20	人	1	44,000	462		
	2	8月									
	3	9月3日									
	4	9月									
	5	9月									
	移動	8/1,8/									

○ 「助成対象公演の実施計画書(様式1-2)」の左側欄「公演」番号と一致させて記入してください。

○ 助成対象となる公演の経費のみ計上してください。(募集案内P.2「助成の対象となる事業」、P.5「助成対象経費」を参照)

○ 可能な限り詳細な積算を行い、記入してください。

○ 「表紙」の消費税等仕入控除税額の取扱いを選択してください

消費税等仕入控除調整を行わない事業者は、「消費税等仕入控除税額計(C)」が「0(ゼロ)」となり、(A)=(D)になります。

小計(A)	5,273
消費税等仕入控除税額計(C) 課税事業者:[小計(A)-課税対象外経費計]×10/110 課税事業者以外:0	0
助成対象経費計(D) 小計(A)-消費税等仕入控除税額計(C)	5,273

【消費税等仕入控除額予算書(課税事業者)】		要望額(※)	千円
助成対象経費のうち課税対象外経費 (単位:千円)			
項目	小計		
運搬費			
旅費			
課税対象外経費計	0		

※助成対象経費計(D)の額以内で、様式1-2(実施計画)の合計額に合わせてください。

【課税対象外経費について】

○ 課税事業者のみ記入してください。

○ 助成対象経費のうち課税対象外経費について、各項目ごとの小計を記入してください。

○ 課税対象に該当するか否かは、最寄りの税務署等にて御確認ください。

**【収支予算積算内訳 バリアフリー・多言語対応】** ※A4サイズ1枚以内に収めてください。

(1) バリアフリー対応

(支出) 助成対象経費

内訳欄の金額(円単位)を記入すると、合計額が予算額(千円単位、端数切捨)で自動計算されます。

		(円)	(単位:千円) 予算額
<b>[舞台費]</b>			
公演番号1/〇〇文化会館:〇〇料(委託) @**,*** × 1日	**,**		0
公演番号3/〇〇会館:〇〇料 @**,*** × 20人分	**,**		
<b>[運搬費]</b>			
公演番号2/道具運搬費 [軽トラック] @**,*** × *台 × *			0
<b>[謝金・印刷費]</b>			
公演番号4/印刷費 @**,*** × **部			0
公演番号4/手話通訳謝金 @**,*** × *人 × *回			
<b>[その他]</b>			
			0

**「バリアフリー・多言語対応に関する取組(別枠支援)」を要望する場合のみ作成してください**

○ バリアフリー・多言語対応に関する取組に要する経費のみ計上してください(募集案内「助成対象となる事業」「助成対象経費」を参照)。このとき、内訳には経費の内容に加え、対象となる公演番号を併記してください(記入例のとおり)。

○ 委託費として計上するものは、「〇〇料(委託)」のように記入してください。

(2) 多言語対応

(支出) 助成対象経費

内			単位:千円 予算額
<b>[文芸費]</b>			
公演番号1/英文チラシ・配布資料翻訳料 ***ワード(@***/***ワード)	**,**		0
<b>[舞台費]</b>			
公演番号2/〇〇劇場:字幕費 @**,*** × 一式	**,**		0
公演番号2/〇〇劇場:音声ガイド費 @**,*** × 一式	**,**		
<b>[運搬費]</b>			
公演番号3/道具運搬費 [軽トラック] @**,*** × *台 × *日	**,**		0
<b>[謝金・印刷費]</b>			
公演番号4/プログラム印刷費(委託) @** × **部	**,**		0
小計(b):			0

消費税等仕入控除調整を行わない事業者は、「消費税等仕入控除税額計(C)」が「0(ゼロ)」となり、(A)=(D)となります。

**【消費税等仕入控除額予算書(課税事業者)】**

助成対象経費のうち課税対象外経費

(単位:千円)

項目	小計
文芸費	
舞台費	
運搬費	
謝金・印刷費	
課税対象外経費計	0

小計(A) 小計(a)+小計(b)	0
消費税等仕入控除税額計(C) 課税事業者:小計(A)-課税対象外経費計 × 10 / 110 課税事業者以外:0	0
助成対象経費計(D) 小計(A)-消費税等仕入控除税額計(C)	0

要望額(※)	千円
--------	----

○ 課税対象に該当するか否かは、最寄りの税務署等にて御確認ください。

※助成対象経費計(D)の額以内で、様式1-2(実施計画)の合計額に合わせてください。

## 応募団体概要

(令和5年11月1日現在)

劇場・音楽堂等 又は 実演芸術団体の 名称	(ふりがな)				
代表者	(ふりがな)			(役職)	
所在地	〒			(電話)	
				(FAX)	
団体設立年月	年 日		法人設立年月	年 日 (主務官庁名)	
会計責任者	役職	氏名	監査責任者	役職	氏名

会計責任者・監査責任者の記入は必須です。

設立目的 沿革				
組織	役職員		団体構成員及び加入条件等	
	理事長:○○○ 館長:○○		【団体構成員】 ○○○:○名、○○:○名  【加入条件】	
団体や構成員 の受賞歴				
団体の 財務状況		令和2年度	令和3年度	令和4年度
	総収入	千円	千円	千円
	総支出	千円	千円	千円
	当期損益	0 千円	0 千円	0 千円
	総収入のうち、各種補助金・助成金等受領実績(文化庁及び日本芸術文化振興会の支援・助成を含む)	金額は、千円単位で記入してください。		
公演の事業数	本(事業費 千円)	本(事業費 千円)	本(事業費 千円)	

公演の実績		文化庁又は日本芸術文化振興会支援公演	左記以外の主催公演
	令和2年度	文化庁〇〇〇事業:「〇〇公演」 地域の文化振興等の活動:「〇〇事業」	〇〇〇基金:「〇〇〇公演」 〇〇〇財団:「〇〇〇事業」
	令和3年度		
	令和4年度		

○以下の設問に対し、当該劇場・音楽堂等の管理運営団体における状況について、「はい」「いいえ」「対応検討中」のいずれかに○を囲んでください。

1	関係する劇場・音楽堂等それぞれにおいて、専門性と劇場運営に必要な資質を備えた人材の確保、配置が適切に行われている。	はい	いいえ	対応検討中
2	各種ハラスメント防止対策のための指針等を明文化し、具体的な対応策を講じ、職員等に周知している。	はい	いいえ	対応検討中
3	芸術家等への仕事の依頼において、適正な契約関係が構築できるよう、ガイドラインにそって書面による契約を行っている。	はい	いいえ	対応検討中

### 公演団体概要

※ 上演を担う芸術団体等について、記載してください。(応募団体と同一の場合は「前項と同じ」等と記入してください。)  
(令和5年11月1日現在)

団体の名称	(ふりがな)		
代表者	(役職) (ふりがな) (氏名)		
所在地	〒		
	電話		FAX
過去の公演実績			
団体や構成員の受賞歴			

## 【収支予算積算書(助成対象事業・全体計画)】

※ 巡回公演に係る全体の収支予算積算書を作成してください(様式1-4-①、様式1-4-②に計上した助成対象経費を含む。)

(収入) (単位:千円)

項目	内 訳	予算額	小計	項目	内 訳	予算額	小計
入場料等収入			0	寄付金・協賛金			0
				プログラム等売上収入			0
共催者負担金			0	広告料・他の収入			0
補助金・助成金			0				
				自己負担金			0
総収入計							0

※すべて税込で記入してください。

本応募以外の補助金・助成金を記入してください。

(支出)本体事業 (単位:千円)

項目	内 訳	予算額	小計	項目	内 訳	予算額	小計
出演費			0	会場費			0
音楽費							
文芸費							
舞台費							
運搬費			0	印刷費			0
(支出)本体事業 合計(c)							0
(支出)バリアフリー・多言語対応 合計(d) ※様式1-4-②小計(A)							0
総支出計 合計(c)+合計(d)							0

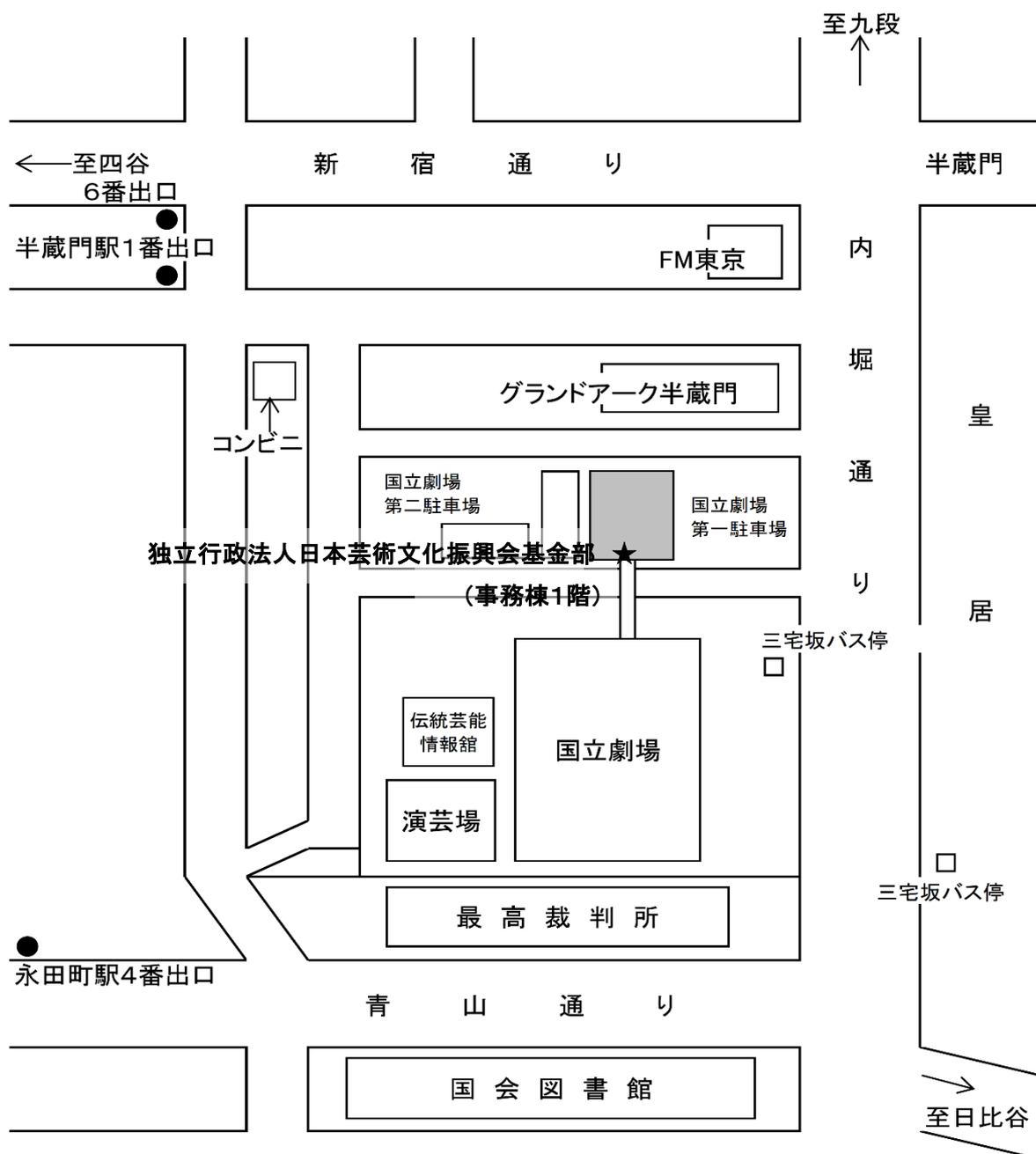
○ 収入、支出はいずれも消費税込で計上してください。  
(単価×数量で計上するものは、税込単価にしてください。)

○ 巡回公演に係る全体の収支について記入してください。  
○ 可能な限り詳細な積算を行い、記入してください。  
【劇場・音楽堂等の場合】  
応募する巡回公演の実施によって生じる各劇場・音楽堂等の収支について、取りまとめて記入してください。  
【実演芸術団体の場合】  
応募する巡回公演の実施によって生じる実演芸術団体としての収支について記入してください。

○ 「(支出)本体事業」には、予算計画書(様式1-4-①)に計上した助成対象経費を含む、巡回公演に係る全体の支出を記入してください。また、バリアフリー・多言語対応に関する取組に要する経費(様式1-4-②)については、「(支出)バリアフリー・多言語対応 合計(d)」に記入してください。

「バリアフリー・多言語対応に関する取組(別枠支援)」を要望する場合は、様式1-4-②小計(A)の金額を転記してください。

総支出計は、総収入計と一致します。



< 交通 >

地下鉄／半蔵門駅(半蔵門線): 1番出口又は6番出口から徒歩5分  
 永田町駅(有楽町線・半蔵門線・南北線): 4番出口から徒歩7分  
 都バス／(晴海埠頭一四ツ谷駅): 三宅坂下車徒歩3分

< 事業に関する問合せ先 >

★お問い合わせフォーム

<https://618dcdfb.form.kintoneapp.com/public/4c8d23cacda01020905f9d5964473974b0d21da2c077ac74ce8e1206afcdb2e1>

〒102-8656 東京都千代田区隼町4-1

独立行政法人日本芸術文化振興会基金部地域文化助成課

【TEL】 03-3265-6032、7021、6018

<午前10時から午後5時まで(正午から午後1時ならびに土・日・祝を除く)>

【E-mail】 [gekijo-ongakudo@ntj.jac.go.jp](mailto:gekijo-ongakudo@ntj.jac.go.jp)